

強者の戦略

2025 年度 京大世界史 第3問〔問題編〕

今回は 2025 年度の京大の第1問に続き、第4問を解説したいと思います。今回、京大では初めて「資料の読み取り問題」や「文章を踏まえて」という思考問題が出題されました。知識の確認や論述の練習も含め、思考問題にもぜひチャレンジしてみてください。

IV 世界史探究問題

次の文章(A, B)を読み、の中に最も適切な語句を入れ、下線部(1)～(17)について後の問に答え、また問(18)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。

A 農耕のあり方は、それぞれの時代や地域において、土地支配や政治と深いかかわりがあった。

「肥沃な三日月地帯」とも呼ばれるa地方では、早くから河川の流域やオアシスで灌漑農業が営まれ、定住人口の増加が進んだ。同地方を統一した⁽¹⁾ハムムラビ王は、各地に運河をつくり、また治水を推進した。⁽²⁾エジプトでは、季節的に増水するb川の氾濫時期を予測し農作業を季節に応じて行う必要から、太陽暦が用いられた。エーゲ海最大の島に起こったc文明では、宮殿の周辺に配置された巨大な貯蔵庫が特徴とされる。穀物生産に向かない地域では⁽³⁾ブドウやオリーブなど果樹栽培が発達した。

ローマが帝国支配により平和を確立したのち、⁽⁴⁾異民族の侵入などで経済衰退が始まると、農業生産の仕組みも変化した。キリスト教がヨーロッパ各地に伝播すると、清貧や純潔の厳格な規律が課される⁽⁵⁾修道院がつくられ、労働が重視された。⁽⁶⁾中世の領主にとっては、⁽⁷⁾支配下の農奴に農作業を担わせる荘園制による土地経営が財政基盤であった。十字軍の影響で地中海地域の勢力図は様変わりするとともに、東方との交易も盛んとなり、人口も増加し食糧と農地への需要が生まれた。毛織物の生産や交易を通してイングランドやフランスとの結びつきを強めたd地方では、修道院が干拓事業を支援し、都市と農村を結ぶ運河が建設された。農村生活は、⁽⁸⁾貨幣経済の発展にともない、しだいに市場を中心に組織されるようになった。⁽⁹⁾バルト海沿岸地方では東方植民運動が進み、水産資源や北欧の毛皮、木材が取引された。

強者の戦略

問

- (1) この王が制定した法典で採用された「目には目を，歯には歯を」という原則を何と呼ぶか。
- (2) この地域では，19 世紀半ば以降，主にヨーロッパ向けのある商品作物の生産が盛んとなった。この作物の名を記せ。
- (3) 古代のアテネでは，ワインやオリーブ油を入れる陶器のかけらを政治的な目的で用いる制度があった。この制度の内容を簡潔に説明せよ。
- (4) 大土地所有者は下層市民を土地に縛りつけ働かせた。このような世襲身分の隷属農民を何と呼ぶか。
- (5) 6 世紀のイタリアでモンテ＝カシノに修道院を建てたのは誰か。
- (6) 彼らがもっていた不輸不入権(インムニテート)とは何か。簡潔に説明せよ。
- (7) この制度の下では，農奴は領主に 2 種の義務を負った。それぞれを簡潔に説明せよ。
- (8) これにともない形成された商業圏では，ハンザ同盟が結成された。その盟主となった都市の名を記せ。
- (9) この地域に拠点を築いて一帯を支配した修道会の名を記せ。

強者の戦略

B 国の統治体制の基礎を定める文書である近代憲法は、18 世紀の欧米に起源し、急速に世界中に伝播した。さまざまな憲法や憲法案が作成された。

1755 年には、⁽¹⁰⁾ジェノヴァからのコルシカ島の独立を目指す一環として、パスカル＝パオリはコルシカ憲法を起草した。後に、ジェノヴァから領有権を得たフランスとの戦いに敗れたパオリはイギリスに逃れたが、彼のことを、同郷のナポレオン＝ボナパルトは英雄として崇拝していた。そのナポレオンは軍人として頭角を現し、権力の階段を駆け上り、1799 年には彼を第一統領とする新しいフランス憲法が制定された。1801 年、長らくフランスの植民地であった⁽¹¹⁾サン＝ドマングでは、指導者トゥサン＝ルヴェルチュールが最初の憲法を發布し、そのなかで奴隷制度の永久廃止を宣言した。

⁽¹²⁾ナポレオンの侵攻を受けたスペインでは、占領を免れたカディスで開かれた議会によって、1812 年に、スペイン最初の憲法が制定された。アメリカ合衆国憲法やフランス 1791 年憲法の影響を受けたもので、植民地の先住民やクリオーリオの男性にも等しい政治的権利を与えた点で画期的であったが、これは数年後、復位した国王によって廃止された。しかし、カディス憲法は南米大陸では模範として参照され続け、⁽¹³⁾アルゼンチンやチリ、ペルーなどで 19 世紀前半に制定された憲法にはっきりとした痕跡を残した。北米大陸のアメリカ合衆国の内部では、1827 年に⁽¹⁴⁾先住民のチェロキー族が憲法を起草したが、その領土的な主張は政府の認めるところとならず、1830 年代にはチェロキー族はオクラホマへ強制移住させられた。

イギリス海軍の艦長であったラッセル＝エリオットは任務で訪れた南太平洋のピトケアン島住民の要望に応える形で、1838 年、同島をイギリス帝国に包摂するとともに、「憲法」を与えた。これにより、子どもの就学が義務化され、世界の憲法史上初めて、成人の男性と女性に等しく選挙権が与えられた。2 年後のハワイ島では、キリスト教宣教師たちの働きによって現地人の意向も反映した形で憲法が制定され、時の国王カメハメハ 3 世の下での二院制の立憲君主制を定めた。⁽¹⁵⁾憲法を持ったハワイは数十年間の独立を保った。日本も 1889 年に大日本帝国憲法を發布した。⁽¹⁶⁾20 世紀初頭にはイラン、オスマン帝国、中国で相次いで憲法ないしそれに準じる文書があらわれた。

第一次世界大戦後、ドイツでは 1919 年にヴァイマル憲法が制定され、⁽¹⁷⁾ソ連では 1924 年に憲法が制定された。イギリス連邦の一員であったアイルランドは 1937 年に新憲法を制定してイギリスからの自立を主張した。もちろん、憲法はあってもその内容がほとんど守られない国もあった。

現在でも憲法は世界の各地で新たに制定されたり修正されたりし続けている。イギリスのように成文憲法を持たない国もある。

強者の戦略

問

- (10) ウィーン会議での決定によりこの地を併合した、後のイタリア王国建国時の中核をなす王国の名を記せ。
- (11) この地で 1804 年に独立が宣言された。この時建国された国の歴史的な意義は何か。
- (12) この時期の惨状を描いた絵画「1808 年 5 月 3 日」で知られる画家は誰か。
- (13) この国は 1982 年にイギリスと戦争をした。何が争われていたのかを答えよ。
- (14) 次の 2 つの史料から読み取れる、チェロキー国憲法の特徴を 3 つ挙げよ。

・アメリカ合衆国憲法(1788 年)

《前文》

われら合衆国人民は、より完全な連合を形成し、正義を樹立し、国内の平穏を保障し、共同の防衛に備え、一般的福祉を増進し、そしてわれらとわれらの子孫のために自由の恵沢を確保する目的をもって、ここにこの憲法をアメリカ合衆国のために制定し、これを確立する。

《第 1 条第 2 節③》

下院議員の数及び直接税の徴収額は、この連邦に加入する州に対して、その人口に応じて配分する。各州の人口は、自由人の総数に、その他のすべての者の数の五分の三を加えることにより算出する。ただし、自由人には、一定の期間役務に服する者を含み、課税されていないインディアンを除くものとする。(後略)

(出典 高橋和之編『[新版]世界憲法集 第 2 版』岩波文庫、2012 年)

・チェロキー国憲法(1827 年)

《前文》

われらチェロキー国人民代表は、招集された会議において、正義を樹立し、平穏を保障し、われら共通の福祉を増進し、そしてわれらとわれらの子孫のために自由の恵沢を確保する目的をもって、(中略)ここにこの憲法をチェロキー国政府のために制定し、これを確立する。

《第 3 条第 7 節》

18 歳以上のすべての自由な男性市民(黒人と、解放されているとしても、黒人女性が白人およびインディアン男性との間にもうけた者は、除く)は、すべての公的選挙において平等に投票権を有する。

(*Constitution of the Cherokee Nation formed by a convention of delegates from the several districts at New Echota, July 1827, 1828 より訳出*)

強者の戦略

- (15) ここを 1898 年に併合し、独立に終止符を打ったのはどの国か。
- (16) 関連して、下記の間 to 答えよ。
- (ア) イランで立憲革命に至るナショナリズムが高まる過程で、1890 年のカージャール朝による外国の会社への独占利権の譲渡をきっかけとする大きな政治的運動が生じた。この運動は何か。
- (イ) オスマン帝国でこの時期に、長らく停止されていた憲法が復活した。その憲法の臣民の権利に関わる特徴を説明せよ。
- (ウ) 1908 年に清朝が発表した文書の名を記せ。
- (17) この 2 年前にソ連は成立した。この時これを構成した 4 つのソヴィエト共和国のうち 2 つを答えよ。
- (18) B の文章を踏まえて、(ア)19 世紀から 20 世紀前半において、とくに欧米の外側の世界で、多くの国や地域の人びとが憲法を求めた(あるいは外来者が憲法を与えた)理由を説明し、(イ)この時代にそれが可能となった技術面での条件を挙げよ。

2025 年度 京大世界史 第 3 問〔解答解説編〕

【解答】

A

a メソポタミア b ナイル c クレタ (ミノア) d フランドル

- (1) 同害復讐法
- (2) 綿花
- (3) 陶片に僭主となる恐れのある人物の名を書いて投票し、一定数の票を得たものを国外へ追放した。
- (4) コロヌス
- (5) ベネディクトゥス
- (6) 荘園内における国王の課税権や裁判権などの行使を領主が拒否することができる権利。
- (7) 賦役と呼ばれる領主直営地における労働や、貢納と呼ばれる農民保有地における生産物を地代として納める義務。
- (8) リューベック
- (9) ドイツ騎士団

強者の戦略

B

- (10) サルデーニャ王国
- (11) 世界初の黒人共和国が成立した
- (12) ゴヤ
- (13) フォークランド（マルビナス）諸島の領有
- (14) ・合衆国憲法の影響を受けている。
 - ・黒人を差別している。
 - ・18歳以上の男性普通選挙を定めている。
- (15) アメリカ合衆国
- (16) (ア) タバコ＝ボイコット運動
 - (イ) 宗教や民族に関わらず、帝国内における臣民の法的な平等を認めた。
 - (ウ) 憲法大綱
- (17) (次から2つ) ロシア, ウクライナ, ベラルーシ, ザカフカース
- (18)
 - (ア) 自国の主権や領土などを明確化し、近代的な主権国家として独立し、他国の干渉を防ごうとした。
 - (イ) 蒸気船や鉄道などの運輸や電信・電話などの情報の発達と普及

【解説】

ここでは論述問題を中心に解説します。特に(16)は「資料の読み取り問題」や(18)のように、「Bの文章を踏まえて」という京大では新しい問題が出題されました。

A

(3) 古代のアテネでは、ワインやオリーブ油を入れる陶器のかけらを政治的な目的で用いる制度があった。この制度の内容を簡潔に説明せよ。

→陶器のかけら、で陶片が思いつくはず。クレイステネスの改革における**陶片追放(オストラキスモス)**を説明すればよい。陶片追放では6000票を獲得した者は10年間の国外追放となった。

(6) 彼ら(中世の領主)がもっていた不輸不入権(インムニテート)とは何か。簡潔に説明せよ。

→国王の持つ**課税権と裁判権を領主が拒否**できる特権であることを説明すればよい。

(7) この制度(荘園)の下では、農奴は領主に2種の義務を負った。それぞれを簡潔に説明せよ。

→2つの義務とは**賦役と貢納**。この2つを説明すればよい。賦役は労働地代とも呼ばれ、直営地における週3日の労働や農繁期の共同作業が中心であった。貢納は生産物地代とも呼ばれ、保有地での生産物を地代として農奴が領主に納めた。

強者の戦略

B

- (11) この地（サン＝ドマング）で 1804 年に独立が宣言された。この時建国された国の歴史的な意義は何か。

→**サン＝ドマングは今日のハイチ共和国**。トゥサン＝ルーベルチュールが 1800 年に独立を宣言し、彼の死後、1804 年に世界で最初の黒人共和国として独立した。

- (13) この国（アルゼンチン）は 1982 年にイギリスと戦争をした。何が争われていたのかを答えよ。

→1982 年、アルゼンチンの軍事政権は、アルゼンチンの沖合にある**イギリス領フォークランド諸島の領有を主張**して軍隊を上陸させた。これに対し、イギリスのサッチャー首相は軍隊を派遣し、奪回に成功した。

- (14) 次の 2 つの史料から読み取れる、チェロキー国憲法の特徴を 3 つ挙げよ。

→《前文》より、アメリカ合衆国憲法は「われら合衆国人民は、」より始まり、チェロキー国憲法も「われらチェロキー国人民代表は、」と始まっている。さらに「正義を樹立し」、「平穏を保障し」、「われらとわれらの子孫のために自由の恵沢を確保する目的をもって」などが同じであり、**アメリカ合衆国憲法の影響を受けている**。また、アメリカ合衆国憲法の《第 1 条第 2 節③》では「自由人には、…インディアンを除く」とあるように、インディアンに対する差別がある。そしてチェロキー国憲法には「自由な男性市民(黒人と、解放されているとしても、黒人女性が白人およびインディアン男性との間にもうけた者は、除く)」と**黒人差別がある**。さらに「18 歳以上のすべての自由な男性市民…は、すべての公的選挙において平等に投票権を有する。」と**18 歳以上の男性普通選挙が定められている**。

- (16) (イ) オスマン帝国でこの時期（20 世紀初頭）に、長らく停止されていた憲法が復活した。その憲法の臣民の権利に関わる特徴を説明せよ。

→20 世紀初頭、1908 年の青年トルコ革命によって復活したのはミドハト憲法。1876 年に制定されたが、露土戦争を口実に停止された。しかし 30 年後の 1908 年に青年トルコ革命が起き、ミドハト憲法は復活した。アジア最初の憲法となったミドハト憲法は**宗教の別なくすべての臣民はオスマン人であり、自由かつ平等であるとされ、オスマン帝国の新しい国家理念としてオスマン主義が採用されたことを示している**。

強者の戦略

(18) B の文章を踏まえて、(ア)19 世紀から 20 世紀前半において、とくに欧米の外側の世界で、多くの国や地域の人びとが憲法を求めた(あるいは外来者が憲法を与えた)理由を説明し、(イ)この時代にそれが可能となった技術面での条件を挙げよ。

(ア)

●論題：とくに欧米の外側の世界で多くの国や地域の人びとが憲法を求めた(あるいは外来者が憲法を与えた)理由

○条件：B の文章を踏まえて

→「とくに欧米の外の世界で」とあるので、欧米外の世界で成立した憲法の特徴を B の文章から抜き出してみると、

- ・サン＝ドマング（ハイチ）の憲法：奴隷制度の永久廃止を宣言
- ・カディス憲法：植民地の先住民やクリオーリョの男性にも等しい政治的権利を与える

(アルゼンチンやチリ、ペルーなどの憲法にその痕跡)

- ・チェロキー族の憲法：領土的な主張（合衆国政府は認めず、強制移住させられる）
- ・南太平洋のピトケアン島住民の憲法：子どもの就学の義務化、成人男性と女性に選挙権
- ・ハワイ島憲法：二院制の立憲君主制（数十年間の独立を保つ）
- ・日本：1889 年に大日本帝国憲法
- ・イラン、オスマン帝国、中国：20 世紀初頭に憲法ないしそれに準じる文書が現れる

ここから導ける理由としては、サン＝ドマング（ハイチ）の憲法やカディス憲法、チェロキー族の憲法より“**自国の独立・領土のため**”や、ピトケアン島住民の憲法は“**国民の権利ため**”、そしてハワイ島憲法や、日本やイラン、オスマン帝国、中国などはハワイが数十年の独立を守れたように、“**欧米列強の圧力に対する近代化のため**”と見ることができる。

(イ)

B の文章冒頭の部分に「国の統治体制の基礎を定める文書である近代憲法は、18 世紀の欧米に起源し、急速に世界中に伝播した。さまざまな憲法や憲法案が作成された。」とある。なぜ急速に世界中に伝播したのか。それは多くの人々が移動した“**運輸**”や情報の伝達による“**通信**”のためである。具体的には蒸気船や鉄道、そして電信などがあげられる。